

看護師・助産師 募集のご案内

Information on recruitment of nurses and midwives



看護部の理念

日々実践する看護に責任をもつ

看護部の基本方針

患者さんとともに考える看護を実践します
患者さんの回復過程を理解し看護を実践します
退院後の生活を見すえて看護を実践します

さぬき市民病院看護部教育理念

さぬき市民病院看護部は、看護専門職として
倫理を遵守し、人々の健康な生活実現に貢献できる
質の高い看護を提供するために、
自立的に行動し協働する看護職の育成を支援します。

施設概要



設立: さぬき市

病床: 一般病床175床、感染症病床4床

科目: 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、リウマチ科、精神科、心療内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

職員: 390名

[助産師13名、看護師157名、
看護補助者17名(介護福祉士14名・補助者3名)、
クラーク19名]

方式: 固定チームナーシング

体制: 入院基本料(7:1)



募集要項

職種: 助産師、看護師、介護福祉士

資格: 有資格者、取得見込者

勤務: 変則2交代制

勤務時間: 日勤 8:30から17:15

夜勤 16:30から9:00

主要手当: 時間外勤務手当、特殊勤務手当、夜間勤務手当

その他の手当: 昇給年1回、賞与年2回、通勤手当、住宅手当、扶養手当

休日・休暇: 4週8休制、年次休暇、特別休暇等

教育支援制度: 各種研修会参加、認定看護師養成教育機関修学助成金、助産師養成修学資金貸付

福利厚生: 市町村職員共済組合、さぬき市職員共済会、部分休業・短時間職員制度 等

看護職賠償責任保険に全ての看護職員が加入(病院負担)しています。

教育システム

Education system

教育担当者を配置し、安心して看護技術を習得できるように体制を整えています。また、不安や心配ごとを相談できるメンターシップをとっています。個人の成長にあわせてさまざまな技術を習得出来るように支援します。

Nursing Skills研修



最新の講義内容で、
院内研修の充実

自己学習にも
最新の情報・技術・知識の習得に!!

育児中でも
気軽に研修も受講できる!!

PC、スマホ
タブレットでも

基礎習得コース

- ・フィジカル
- ・人工呼吸器
- ・褥瘡
- ・導尿
- ・バルンカテーテル
- ・採血
- ・心電図

中堅コース

- ・ファシリテーションスキル
- ・リーダー論
- ・慢性呼吸不全
- ・がん性疼痛
- ・救急看護
- ・チームリハ

管理コース

- ・看護制度
- ・ストレスマネジメント
- ・地域包括ケア
- ・労務管理
- ・人材育成
- ・病棟管理の可視化
- ・目標管理の方法

看護研究コース

- ・研究デザイン
- ・文献を読む
- ・研究テーマ
- ・研究計画書
- ・文献検討
- ・研究論文作成
- ・研究成果発表

看護補助者研修コース

- ・組織の理解
- ・看護補助業務の理解
- ・環境整備
- ・診療介助業務
- ・医療安全
- ・感染予防
- ・労働安全衛生

さぬき市民病院看護部教育プログラム

一人ひとりの希望やスキルに応じたプログラムで、オールマイティーな看護師の育成を目指しています。専門分野は個々で対応します。

	研修名	研修内容	担当者
経年別	1年目看護職員研修	新看護職員研修プログラムに基づき1年間の研修 OJT・OFFJT研修の実施 看護協会研修	教育委員会
	2年目看護職員研修	新看護職員研修プログラムから1年間に達成出来なかった OJT・OFFJT研修継続の実施と内視鏡・手術室研修	教育委員会
	3年目看護職員研修	個人としての看護研究・症例研究発表の提出、院内・院外発表を含む	教育委員会
役割別	臨床指導者研修	香川県看護協会開催の保健師助産師看護師実習指導者講習会参加	看護部管理室 臨床実習委員会
	看護補助者研修	eラーニング活用研修と、自らで企画した研修内容をもとに実践的な研修	看護部管理室
	新人指導者研修	香川県看護協会開催の新人看護職員研修・新人助産師・実地指導者・教育担当者・研修責任者研修参加	看護部管理室 教育委員会
	訪問看護師養成研修	香川県看護協会開催の訪問看護eラーニング活用による 訪問看護師養成講習会	看護部管理室 地域医療部
	管理者研修(副看護師長)	月1回の副師長会の開催、自治体・国保・看護協会関連の 管理者研修参加	看護部管理室 看護部長
	管理者研修(看護師長)	月2回の師長会開催、自治体・国保・看護協会関連の 管理者研修参加	看護部管理室 副看護部長
全職員	看護研究発表	個人・グループとしての看護研究・症例研究発表の提出院内・院外発表を含む	看護部研究委員会
	看護必要度研修	看護必要度研修を受講した職員が、看護職員に向けた研修の実施と評価	看護必要度委員会
	看護部目標発表	看護部管理室が中心に、各年度の始めの目標発表と、目標実績報告会を開催	看護部管理室
	Nursing Skills活用研修	すべての看護職員が、個人的にテーマに添った研修を受講	看護部管理室 看護部教育委員会
	テーマ別集合研修	年間計画に基づき研修計画を作成し、研修会の実施と評価	看護部教育委員会
	部署・委員会別研修	部署・委員会毎に必要な年間研修計画に基づき研修計画を作成し、研修会の実施と評価	各所属部署・委員会等別

新人教育

New face education

ラウンド研修

- ・新人看護職員は部署配置せず、看護部管理室配置
- ・期間は3ヶ月（4月～6月末まで）
- ・集合研修/OJT/リフレクション（振り返り）を繰り返す

月	火	水	木	金
集合研修	病棟	病棟	病棟	リフレクション (振り返り)



新人看護師の 月別年間到達目標

ラウンド研修

1 年 目

4 月

April

▼ 助言を受けながら基本的なベットサイドケアができる

5 月

May

▼ 組織・社会人として職場環境に慣れる

6 月

June

▼ ベットサイドケアが出来る

7 月

July

▼ 基礎看護技術を身につけて自立してベットサイドケアができる

8 月

August

▼ 優先順位を付けて行動できる夜勤業務の練習に入る

9 月

September

▼ 基本的な急変時の対応と準備が出来る

10 月

October

▼ 看護必要度にあつた記録が出来る

11 月

November

▼ 患者・家族とのコミュニケーションを図ることが出来る



ゲームなど
リフレッシュ研修

1 年 目

2 年 目

3 年 目

12 月

December

▼ 退院前カンファレンスや、担当者会議に参加する為の資料を準備することができる

1 月

January

▼ 急変時の対応が出来る安全な看護が提供できる

2 月

February

▼ ケース検討会
部署内でのカンファレンスの実施

3 月

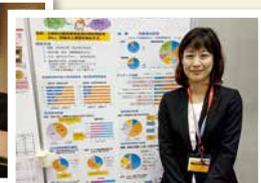
March

▼ 1年間を振り返り次年度の目標・課題を見出すことができる

▼ 他部署への交流研修
退院支援・退院調整、在宅看護・在宅診療への同行訪問



▼ 看護研究・ケーススタディーなどの作成と発表



さぬき市民病院では、ナース一人一人が専門性を追求し、地域の皆さんに選ばれる病院を目指しています。明るく楽しい職場で一緒に頑張ってみませんか。

新人助産師です。大変だけど先輩の指導を受け頑張っています。

新人 看護職員 到達目標

- ① 基本的な技術を身につけて指導・助言を受けながらベットサイドケアが安全に出来る。
- ② 看護師としての役割を理解し、基本的な知識・技術・態度を身につける。
- ③ 支援を受けながら自己の課題に取り組むことができる。



所属部署や
チームで指導
してくれます。

看護技術指導 (OJT)

新人看護職員1名に先輩看護師1名を配置しています。夜勤のスタートは、個々の成長や経験にあわせて夜勤に入って頂きます。

新人の〇〇です。
よろしくお願いします。

新人
ナース



今日は、
私があなたの
指導担当。

リーダー



私は今日の
リーダーです。
報告・連絡相談は
私にしてください。

支援者



大丈夫、
あなた達なら
出来るわ。

私たちは
メンバーだけど、
何でも聞いてね

メンバー



新人看護師 からの メッセージ

Message from
new face nurse

新人 看護師より

【多重課題】多重課題では、自分の対応する動画を見た後に、同期とカンファレンスをします。自分の課題に気づくことや、自分と違った視点や対応を知ることができ、今後の対応時に生かすことができると思いました。突発的な問題に対するアセスメント能力と、より多くの知識を身に付けて、患者さんに安心してもらえるような声掛けができるようになりたいと思いました。

【ラウンド研修】部署配属の前に、各病棟の特徴や雰囲気を学ぶことができました。また、入院している患者さんの個性を理解することもできたので、部署配属に対する不安な気持ちが軽減されました。

【集合研修】集合研修では看護のポイントなどを知ることができます。実際に演習があり講義だけではわからないことも学び、技術等を先輩看護師が見てくれるため、その時に今後の課題を知ることができます。この研修では同期が集合するため、その時に情報交換もでき色々なことを学んでいけます。

【振り返り】この一年間、できる業務が増えてきましたがアセスメント能力や治療に対する知識不足を感じました。今後はそれらを身に付けていきたいと思います。一年間で基礎看護の知識や技術を先輩看護師から研修を通して学び、病棟に配属されてからも色々なことを学ぶことができました。今後もさぬき市民病院のスタッフとして頑張っていきたいと思っています。

新人助産師 からの メッセージ

Message from
new face midwife

新人 助産師より

【多重課題】多重課題を実施し、自分のこれからの課題が明確になりました。それは、常に優先順位を考えて看護を行うことです。生命に関わることを第一に優先付けて行動しないとダメですが、常に現場は変化していきます。そこで、いくつかの生命に関わる事態が同時に発生した時には、自分の判断と行動が大切になってきます。自分で対応できかねると判断した場合には先輩看護師に助けを求めることも看護師の重要な判断であり、患者さんを危険から守ることに繋がることを学びました。

【ラウンド研修】実際に、各病棟で研修を行うことで病棟毎の患者層や特徴を自身で体験して学ぶことができました。また、自分が興味のある分野に関わることもでき、看護師になったという実感が増し、もっとこの分野を学びたいと、さらに思うことができました。そして、各病棟で先輩看護師の指導のもと、様々な看護技術を体験することができ、自分の自信にも繋がりました。

【集合研修】1週間に一度の研修と振り返りがあります。一カ月ほど一緒に研修していた同期がバラバラになり不安もありましたが、集合研修の日は同期の顔を見ることができ「ほっ」とすることもできました。自分たちの学びやこれからの課題をカンファレンスし、同期の学びから自分の学びや知識、これからの課題を見つけられました。先輩看護師もカンファレンスに参加して頂けるため、疑問点はすぐに質問して解決することができます。

【振り返り】この1年間はあっという間に過ぎていきました。知識、技術、アセスメント、看護業務から覚えることや学習することがたくさんあり、何もできない自分を「不甲斐ない」と思うこともありましたが、少しずつ自分でできることが増えていき、患者さんと関わる中で看護師としての自覚や責任感が芽生えてきます。第一に患者さんの安全を守るためにも、この1年は自分でできないことはしっかりと先輩看護師に発信し、次回から確実に自分でできることを増やしていくことが大切であると学びました。私もこれからの課題はたくさんあるので、積極的にトライし課題をクリアできるように頑張っています。

先輩介護 福祉士からの メッセージ

Message from
senior care worker

先輩 介護福祉士より

辛い急性期治療が終了した入院患者さんに、楽しくあそびを取り入れたリハビリ（あそびリテーション）に取り組んでいます。また、今回私自身は看護師と協働し研究発表に取り組むことができ、介護福祉士として入院患者さんに何が出来るかを見つめ直す機会にもなったと考えます。病院という場で戸惑うことも多いですが院内勉強会や院外研修にも参加し、新しい知識・技術を提供できるようにこれからも努力していきたいと思います。



看護部の 紹介

Introduction of the
nursing part

医療で大切なのはチームワーク。各部署のスタッフと、やさしく丁寧にサポートします。

患者さんの
思いに添って
ケアを考えよう!!



3階西病棟

内科急性期から終末期、また泌尿器科周手術期・透析導入や腹膜透析など専門的な看護が提供出来る病棟です。高齢の患者さんも多く病態は常に変化がみられ、患者さん一人一人に応じたケアの提供が出来るようにアセスメントを行い積極的に患者さんに関わりを持つことを大切にしています。患者さんとそのご家族が安心して入院生活が送れるように支援しています。

4階東病棟・HCU(重症観察室)

内科・産婦人科・小児科・整形外科・耳鼻咽喉科の混合病棟です。

産婦人科では、婦人科疾患患者の周手術期看護、香川式セミオープンシステムと助産師によるローリスクのお母さんを対象に院内助産を行っています。

女性の一生(人の誕生から最期まで)に寄り添うことができます。

HCU病床は、急性期患者を受け入れています。

モニタリングによる全身管理が行われ、看護師にもフィジカルなアセスメント能力が必要となります。

医療機器も多くあり多職種との連携をとりながら、看護のスキルアップができる病棟です。



4階西病棟

外科系の疾患を対象とし、手術・化学療法・リハビリテーションなど、多様な医療を提供している病棟です。入院・手術をされる患者さんの不安や苦痛は大きく計り知れません。私たちは、そんな患者さんの心に寄り添い支える看護を目指しています。

健康管理センター

人間ドックや健康診断を受けた方に、生活習慣病予防のために電話や面談で保健指導を行っています。



救急処置室

主に救急車で来院する方の対応を行う場所です。

各種器材が設置されていて緊急処置や外傷処置を行います。安全で迅速な対応を心がけています。





中央処置室

各科外来や依頼された患者さんの採血・採尿・注射・点滴・内視鏡・化学療法・画像検査の検査前・検査中・検査後の説明や状態観察などを行う場所です。

あらゆる診療科と情報伝達を的確に行い地域の皆様が安心して検査・治療が受けられるよう支援しています。

透析室

透析治療を受けながら患者さんが満足のいく生活が送れるように医師・看護師・臨床工学士多職種で連携をとり安心安全・安楽に治療が行えるようチームで取り組んでいます。



手術室

24時間受け入れ態勢を整えています。

手術室は4ルームあり内1ルームはクリーンルーム (biological clean room)とし、より清潔な手術が行えます。

患者さんの不安を軽減することを目的に手術前訪問・手術後訪問を行い手術を受ける患者さんに寄り添った看護を提供しています。

感染病床

当院は第二種感染症医療機関であり、地域拠点病院として感染症患者の受け入れを行っています。

感染症患者さんの疾患に対する不安や隔離によるストレスなどに寄り添い支援を行っています。



地域包括ケア病棟



急性期医療が終了した患者さんは早期に退院しています。

しかし、すぐに自宅や居宅施設に退院するには不安のある患者さんに対して入院を継続し、在宅復帰に向けて、医療、看護、リハビリ、を行います。その間に退院準備をしっかりと整え、安心して在宅等へ退院することを目的とした病棟です。

看護師16名介護福祉士7名で患者さんを支援しています。夜勤は看護師2名介護福祉1名で行っています。

総合支援室 患者サポートセンター

患者サポートセンターは、各医療機関との連携を図り紹介患者さんの受入（転院入院、外来予約）逆紹介調整、患者相談窓口業務また、患者さんが安心して療養できるように入院前から患者さんに関わり、退院後の生活を見据えた退院支援に取り組んでいます。

業務内容は多岐に渡っていますがスタッフ間で協力しながら日々業務に励んでいます。



在宅療養支援室



新人教育の一環で訪問看護に新人看護師さん達と同行訪問しています。

退院された患者さんの生活や人生に寄り添うことの大切さを考える機会にいただき、在宅での生活を支えています。



訪問看護に興味のある方を待っています。



看護補助者研修

Nurse assistant training

当院は介護福祉士と看護補助者が在籍し、看護チームの一員として看護師の指示のもと業務を行っています。

介護だけでなく、医療と介護の共存した患者さんのお世話をするために、必要な知識や技術の習得のため、毎月様々に勉強会を実施しています。



eラーニングの活用や他職種の講師など自分たちで研修の企画を行ったり、院内研究発表会にも参加し、活動しています。また、勉強会の後には意見交換会を行い、みんながやりがいを持って生き活きと働いています。

認定看護師 の活動

Activity of the
authorized nurse

認定看護師とは、特定の看護分野において熟練した技術と知識をもち、その分野の専門家として水準の高い看護実践ができると認定された看護師のことです。認定看護師が看護現場において実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることに貢献しています。認定看護師になるには、保健師・助産師・看護師の免許をもち、実践経験が5年以上、そのうち認定看護分野での経験が3年以上必要です。そして全国にある教育機関で6ヶ月～8ヶ月の教育課程を修了し、全国一斉に行われる認定審査に合格すると、晴れて認定看護師になることができます。

院内・院外でも活動しています

感染管理認定看護師

井原 由弘



感染管理認定看護師の役割は疫学、微生物症学、洗浄・消毒・滅菌関係法規など専門的知識をもとに、施設状況に合った効果的な感染対策を実施、実践していくことで、病院に関わる全ての人を感染症から守る事です。病院スタッフと協力しながら、今後も感染症と向き合っていきたいと考えています。

毎週院内ラウンド

皮膚・排泄ケア認定看護師

坂本 芙美子



皮膚・排泄ケア認定看護師は創傷、ストーマ、失禁ケアの3つの領域のケアを専門としています。患者さんに合わせたライフスタイルを考慮し、専門的視点でスタッフと共にケア方法を考え患者・家族に寄り添う看護を提供できるように活動しています。患者さんが安心して日常生活が送れる看護を目指します。

病棟ナースと事例検討

認知症看護認定看護師

矢木 可奈子



認知症看護認定看護師は、認知症患者の意思を尊重し、権利を擁護することや、認知症者にとって安全かつ安心な生活・療養環境を調整するなどの役割があります。現在は、認知症患者さんが安心して療養できるよう認知症ケア向上を目的に、看護師や介護福祉士を対象に研修会を開催したり、院内ラウンドを行い、病棟看護師とともに認知症ケアの見直しを行っています。

チームで勉強しています

緩和ケア認定看護師

山本 亜佐美



がん患者さんは体や心、療養場所や存在意義など、様々なつらさを抱えています。苦痛を緩和し、その人らしく過ごせるよう、サポートしていくことが大切だと考えています。質の高い緩和ケアが提供できるよう、勉強会を開催し、具体的な緩和ケアの提案を行い、医療スタッフのサポートも行っています。

看護外来のご案内

Nursing outpatient guidance

さめき市民病院では、病気の予防や治療・療養生活に関して、専門の看護師が、患者さんやご家族の相談に応じています。



	担当者	開催日	内容
フットケア外来	糖尿病療養指導士	毎月：第1・3火曜日 ☆時間：13:00～15:00 ☆所要時間：30分～1時間	糖尿病患者の足の状況、生活状況セルフケア状況に応じた足のケア 
呼吸ケア外来	3学会合同 呼吸療法認定師	毎月：第2火曜日 ☆時間：09:00～12:00 ☆患者さん1人当たり30分程度	生活状況と呼吸困難の程度、栄養評価・指導、薬剤管理、在宅酸素について
ストーマ外来	皮膚・排泄ケア 認定看護師	毎週：木曜日 完全予約制 ☆時間：10:00～ ☆所要時間：30分程度	ストーマの管理方法や装具交換の手技確認、排泄物の漏れや皮膚トラブル対処方法の指導・装具についての相談
CAPD外来	外来看護師	毎月：第2・4水曜日 ☆時間：13:30～17:00 ☆所要時間30分～1時間	PDに関して日常生活指導、出口部観察・ケア、接続チューブ交換など
安産教室	担当助産師	毎月：第二土曜日 ☆時間13:30～15:30	妊娠週数に応じた生活指導、準備物品の案内、分娩経過、新生児のケアについてなど

助産師の活動

Activity of the Midwife

助産師外来

ゆっくりと時間をかけて、妊娠中お母さんから関わっています。超音波で赤ちゃんの様子をみながらの楽しい時間です。



院内助産

「さめき市民病院で産みたい!」というお母さんとお家族の希望があり、ローリスクの経産婦さんのみを対象に行っています。家庭的な雰囲気の中で側臥位分娩など「生まれてくる力」と「生む力」を信じてサポートしています。



母乳外来

桶谷式乳房管理士の資格を持つ助産師がおり、アドバンス助産師も6名います。保険診療でのケアも受けられます。



家庭訪問

ご自宅に帰って、いろいろと不安や心配なお母さんを対象に助産師の家庭訪問を行っています。



産後ケア事業

さめき市と東かがわ市との連携を取りながらショート・宿泊型の事業を展開しています。

安産教室

外来で個別指導を行っています。沐浴やおむつ交換などお父さんお母さんのニーズに合わせて行っています。

パースディ・1/2パースディ

当院で妊婦健診や産褥期に過ぎされたお母さんと赤ちゃんを対象に足形アートの作成や写真撮影を行っています。フォトスペースは、助産師手作り!!



いのちの先生 出前授業

香川県看護協会と香川母性衛生学会からの派遣依頼を受けて、小・中・高校への出前授業を行っています。リレーされるいのちの尊さや正しい性教育の普及啓発を行っています。



プロジェクト活動

Project activity

プロジェクトへは、自主的に参加して活動することができます。



NST・栄養サポートセンター

栄養管理は範囲が広く、医師だけでは対応できません。当院では、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・管理栄養士・言語聴覚士等の多くの職種が、各々の知識と技能を持ち寄って、栄養サポートを行うNSTが活動しています。



摂食・嚥下治療センター

患者さんの口腔内のスクリーニングを行い、早期にチームが介入できるシステムがあります。嚥下回診では患者さんのベッドサイドに訪問し、チームで個々の問題に対する検討を行っています。口腔ケア・口腔内環境の改善、ひとりひとりに合った食事摂取など、寄り添えるチーム活動を心がけています。



消化器病センター

消化器内科・消化器外科・放射線科が連携し、看護師、コメディカルスタッフの協力を得ながら消化器疾患の診断、治療に当たり、病診連携を推進しています。また、院内研修による消化器疾患診療レベルの向上、地域連携の強化を行っています。



術前・術後の症例検討会を定例で開催しています

緩和ケアプロジェクト

H28年度、緩和ケアプロジェクトチームが発足しました。患者さんのつらい症状や、心配事を改善するために緩和ケアを提供します。緩和ケアに関する勉強会、患者さんのケースカンファレンスを行い、充実した緩和ケアを提供したいと意気込んでいます。

さめきハートチームプロジェクト

循環器医師を中心に多職種で心不全患者の症例検討や退院後のフォローを目的としてチーム活動を行っています。循環器疾患の最新知識が得られ患者指導や退院支援につながっています。



呼吸ケア・サポートチーム(RCST)プロジェクト

当院のRCSTは、平成26年度より入院患者様だけでなく地域における呼吸器疾患患者様のサポートを充実することを目的に発足した新しいチームです！チームメンバーは、医師、看護師、理学・作業療法士、臨床工学技士、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技士などの様々な職種が関わり、呼吸器疾患に関する勉強会を中心に活動しております！



糖尿病センター

糖尿病センターでは専任CDE看護師、薬剤師が外来指導を行い多職種との連携を図っています。患者の合併症の発生・進展を予防するために日本糖尿病療養指導士(CDE)が活発な活動を行っています。定期的に院内、県内外の研修会に参加し学会発表を行っています。



ICLSプロジェクト

急変時の対応のためBLS・気道確保・モニタなどのシュミレーションを体験してもらい、学習する場を提供しています。



さぬき市助産師養成修学資金貸付条例

助産師養成施設を卒業後さぬき市民病院で助産師の業務に従事できる方に、助産師養成修学資金を貸し付ける制度です。

- 【対象】 (1)指定学校の助産師課程を履修し、又は助産師養成所に在学していること。
 (2)助産師養成施設を卒業後助産師として市民病院に勤務することを希望していること。
 (3)勉学の意欲がおう盛で心身ともに健全であること。

貸し付ける修学資金の額は、月額100,000円無利子です。



病児・病後児保育施設

「コスモス」を併設しています。

さぬき市民病院病児・病後児保育室「コスモス」は、子どもが病気であり、かつ集団で保育すること等が困難な場合に、その子どもを一時的に保育することにより、安心して子育てができる環境を整備し、子どもの福祉の向上を目的とする、「さぬき市病児・病後児保育事業」に基づく、病気の子どものための保育施設です。



院内保育所

「ひまわり」を開設しています。

さぬき市民病院では、医師や看護師をはじめ、当院で勤務する職員にとって、仕事と育児の両立がしやすい職場環境を提供することを目的に、平成28年4月1日に院内保育所「ひまわり」を開所しました。当院で働かれる皆さまの勤務体制に柔軟に対応できるよう、通常保育のほか、一時保育や延長保育を実施しております。ぜひ、院内保育所「ひまわり」をご利用いただき、安心して働いてみませんか。

職員の子供さんが、楽しく遊んでいます。安心して子供を預け仕事ができます。

ACCESS



車 :高松市内から、国道11号または県道10号線(さぬき東街道)で東へ約40分
高松自動車道:志度ICまたは津田寒川ICから、南へ約15分



J R:JR志度駅からタクシーで約20分
JR神前駅から徒歩で約20分
ことでん:ことでん志度駅からタクシーで約20分
ことでん長尾駅からタクシーで約10分



バ ス:大川バス引田線:「さぬき市民病院前」下車すぐ
さぬき市コミュニティバス:市内循環線、または志度~寒川~津田線「さぬき市民病院」下車すぐ



さぬき市民病院

Sanuki municipal hospital

〒769-2393 香川県さぬき市寒川町石田東甲387番地1
TEL.0879-43-2521 FAX.0879-43-6469
E-mail hp.somu@city.sanuki.lg.jp
<http://www.city.sanuki.kagawa.jp/hospital/>

